

## 基本施策 18 青少年健全育成の推進

### ■めざすまちの姿

学校・家庭・地域・関係機関が相互に連携しながら青少年の健全育成に取り組み、豊かな人間性や社会の基本的ルール、自ら考え行動する力を身につけた青少年を育むまちをめざします。

### ■現状

- ◇青少年育成センターの教育相談窓口としての機能を生かし、不登校やいじめ問題などに対応し、学校・家庭・地域の連携の取組支援を行うとともに、学校サポートチームの一員として市内小中学校を定期的に訪問し、学校の抱える課題に対して助言等を行い、必要に応じて関係機関につないでいます。
- ◇不登校、いじめ、体罰、児童虐待、SNSに関するトラブル等、多様化する課題や市民や学校職員からの相談に対応するとともに、スクールソーシャルワーカー、指導主事等で組織する学校サポートチームにより教育相談の質の向上を図っています。
- ◇ネットパトロールの報告会を定期的実施し、小中学校に情報提供を行い、青少年の問題行動の未然防止に取り組むとともに、非行防止活動として、中学校区育成委員会や更生保護女性会等が連携し、校区ごとの**特別巡回訪問**や**定期巡回活動**、市内イベントでの巡回活動、街頭キャンペーン等を行っています。
- ◇生涯学習を行う市民グループの活動を支援し、学びの成果（知識や技能、経験など）を地域で共有するため、子どもの体験活動などの指導者への就任を働きかけています。

### ■課題

- ◇全国的に非行、いじめ、ひきこもり、SNSに関するトラブル、薬物の乱用など、青少年による問題行動が深刻化しており、学校・家庭・地域・関係機関が連携を深め、子ども支援のネットワークを強化するとともに、市民相互が連携した青少年健全育成の取組を展開していくことが必要です。
- ◇課題や相談内容の多様化により、専門的な人員の確保が必要です。

### ■個別施策の方向性と主な取組（★は総合戦略事業に関連する取組）

<p>① 青少年健全育成のための推進体制の充実</p> <p>《施策の方向性》 教育相談体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となり、青少年の健全な育成を推進します。</p> <p>《主な取組》</p> <p>①-1 青少年の問題行動の未然防止や「いじめ見逃しゼロ」に向け、適応指導教室や相談支援体制の充実を図ります。</p> <p>①-2 多様な相談内容に対応するため、専門的な知識を有する職員等の協力を得るなど、青少年に関する相談体制の充実を図ります。</p> <p>①-3 <b>中学校区育成委員会や更生保護女性会等による</b>学校・家庭・地域が連携した巡回指導等や<b>街頭キャンペーン</b>など充実させ、地域総がかりの青少年健全育成活動を支援します。</p>
---

## 【資料④-2】

<p>①-4 青少年がインターネットやSNSを通じて犯罪やトラブル等に巻き込まれることがないよう、<b>児童生徒及び保護者へのメディアリテラシー</b>（メディアからの情報を見極める能力）教育を推進します。</p> <p><del>①-5 中学校区育成委員会や更生保護女性会等による巡回指導や街頭キャンペーンなど、青少年の非行防止活動の強化に向けた支援を行います。</del></p> <p><del>①-6 青少年が地域の担い手として活躍できるよう、地域や社会との交流機会やきっかけづくりに取り組みます。</del></p> <p>①-5 宍粟市青少年問題協議会や青少年を守り育てる西播磨地域スクラム会議と連携し、健全育成のネットワークのさらなる拡充を図ります。</p>
<p><b>② 青少年活動の推進</b></p> <p>≪施策の方向性≫ 地域や人とのふれあいの中で青少年の健全な育成が図れるよう、青少年の体験活動や社会参加を推進します。</p> <p>≪主な取組≫</p> <p>②-1 参加者側のニーズの把握に努め、自然や文化などを生かした多様な体験活動等の内容の充実を図ります。</p> <p>②-2 生涯学習に取り組む市民グループ等の学びの成果を広く地域で共有するため、子どもの体験活動等の指導者への就任を積極的に働きかけます。</p> <p>②-3 <b>青少年の地域に対する愛着と誇りを育むため、まちづくりやボランティア活動等への参加を促進するとともに、地域や社会との交流機会を創出します。</b></p>

### ■まちづくり指標

指標名	単位	現状値 (R2)	目標値 (R8)	数値の出所（算出方法）
青少年育成委員巡回指導回数	回/年	68	現状値を維持	担当課保有の管理台帳
【目標値の考え方】 将来更なる学校規模適正化が進むことも予測される中で、青少年育成委員数も減少することが推測されるため、現状値を目標値として設定する。				
学校サポートチーム活動回数	回/年	100	110	担当課保有の管理台帳
【目標値の考え方】 組織的にも活動内容的にも充実させていく必要があるため、現状値より概ね10%増の数値を目標値とする。				
子ども講座・体験活動受講者数	人/年	518 (R1)	現状値を維持	担当課保有の管理台帳
【目標値の考え方】 急激な少子化の進行、放課後時間における多様な学習・体育活動の広まりにより、現状レベル（R1実績）の維持を目標値とする。				

### ■関連する個別計画

- ・ 宍粟市社会教育振興計画